

こころ

vol.59
2022.1

contents

- 02 特集 | 新年に寄せて
- 04 トピックス | 表彰
- 05 シリーズ健康 | 漢方と精神科
- 06 施設紹介 | 佐藤病院作業療法室
- 07 シリーズ公認心理師 | 若宮病院 板垣花絵
- 08 トピックス | 野球部活動報告
- 09 看護師奨学金制度・診療情報
- 10 外来受付予定表

新年



初顔合わせ会

新年顔合わせ会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、参加者を制限し、佐藤病院、若宮病院、米沢こころの病院の3か所で開催システムを使用し開催致しました。



令和4年年頭の挨拶

理事長 佐藤 忠宏

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

今年も昨年と同じように、皆さんと直接顔を合わせてお話しする事ができない状況になりました。

新型コロナウイルスは、昨年より幾分広がりが出たようですが、また新たな株が出てきて安心できない状況です。なんとも、すっきりしない気持ちで過ごさなければならぬと思うと、憂鬱になってきます。

この状態が収束することなく続くようであれば、気持ちを切り替えて「ウィズコロナ」について真剣に考えなければならぬ状況だと思います。

医療、介護においては、少子高齢化、人口減少の元での今後の在り方についてどうあるべきかを考えなければならぬ事に加えて、「ウィズコロナ」下においてどう対応すべきか考慮しなければならぬようになりました。

「ウィズコロナ」は医療だけでなく、個人の考え方、生活の仕方にも変化を及ぼす事になります。抑圧された窮屈な生活が当たり前になり、そのことが精神的負担になることが多くなり、私どもの扱う精神症状にも関係してくるかもしれません。注意して診ていく必要があります。

今年は診療報酬の改定の年です。コロナの影響、医療構造の変化などを踏まえた改定になると思います。

佐藤病院はこの度、救急医療に対しての診療報酬上の配分の減少というあ

おりを受けて、スーパー救急病床を縮小しなければならぬとなりました。その調整に四苦八苦していますが、今月末で何とかなりそうです。

スーパー救急病床は病院にとって大きな収益源です。削減により収入が減少することをいかにカバーしていくかが今後の課題です。まず予算の達成にこれまで以上に傾注してください。

次は経費の削減です。医療、福祉分野においては他の産業のように合理化することはできません。基準を守ったうえで、必要と思われる面は削減してください。宜しく願います。

法人組織のガバナンスの強化については昨年から着実に進め、今年も継続して刷新していきたいと思っています。

当法人の進むべき方向は変わりありません。患者様が地域で共存し共生していくために、精神障害者の地域包括ケアシステムを実践していくことです。このことはとりもたず「SDGs」の課題の実践ではないかと思っています。

目標達成のために各部署、各資源の医療・介護・福祉の連携が一層大切になります。今年は関係部署間の異動だけでなく、既存の関係、医療・介護・福祉の線引きにこだわらず混成による編成を考えた組織を施行したいと思っています。

組織の複雑化、「ウィズコロナ」での医療にとって欠かせないのは「デジタル化」を進めることです。是非やれるところから実現したいと思っています。

今年はいつになく雪が多く、寒さも厳しい年です。体に気を付けて過ごしてください。

職員代表 決意表明



佐藤病院作業療法室
室長 太田咲織

昨年、当法人は、公徳会3病院の病床再編が進んだ他、ほのぼのケアサビスの移設、訪問看護ステーションサテライトや若宮就労支援センターの開設と新たな事業が展開されました。患者様利用者様が在宅や地域で生活する体制がさらに整備され、これまで以上に様々な方へサービス提供ができるものと思います。

そして、精神科作業療法においては精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方や当事者が望む生活を実現するための作業療法のあり方について検討され、取り組みがなされています。作業療法士の活躍の場が広がり、体系が整いつつあります。入院から地域生活までサポートできるよう専門性を磨いていきます。

今年は寅年です。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という諺があります。この言葉を胸に挑戦を恐れず前を向いて進んで参ります。

公德会 病院長からのごあいさつ



佐藤病院
院長 沼田 由紀夫

あけましておめでとうござい
す。昨年は県内の精神科単科の病
院で新型コロナウイルスが発生し
た、という事例があり、真に想定
外の出来事で衝撃を受けました。

これまで人類は経験したこと
のない天変地異に見舞われたり、古
来から天然痘をはじめとしてペス
トやインフルエンザ、エイズ、プ
リオン病等、多くの感染症による
パンデミック（世界的大流行）に
脅かされ、闘って来ました。多く
の犠牲者が出ましたが、人類はこ
れらの困難に戦いを挑み、打ち勝
って来ました。

個人に目を向けますと、感染症
だけでなく身体面やこころの面
での病気に闘っている人、経済面
で苦しんでいる人、人間関係で悩
んでいる人など様々です。これらの
状況を打破すべく闘う力を持ち、
周囲の皆様へ援助できる能力を備
えた職員を有する病院作りをめざ
して行きたいと思っておりますので、宜
しく願います。



若宮病院
院長 田中 武

コロナ禍により私達の生活が大
きく変化し、3年目を迎えます。
安心と安全を求められる医療従事
者である私達は、仕事を離れても
多くの自粛を余儀なくされています。

しかし私たち以上に、行動を制
限された入院生活を強いられてい
る方にとって、多くの制限は厳し
いことかも知れません。病からの
回復や辛さを凌ぐためには安心で
きる人との関わりが大切なのは言
うまでもありません。したいこと
が出来ることは自分の回復力を高
めることにもつながります。しか
し面会や外出・外泊の制限は今や
当たり前です。

コロナ禍に伴う問題以外に当院
では、受診の希望に答えられない
ほど混雑している児童思春期外来
や再飲酒を繰り返してしまう一部
のアルコール依存症の方などの
様々な問題が続いています。

「せばなんとす」、急逝した知人
が遺した言葉です。多くの、何と
かしないといけない課題について、
「ではどうしたらいいか」と今年
も皆様とともに考えていきたいと
思います。どうぞよろしくお願い
致します。

そして、来年の正月には心から
「おめでとうございませう」と言える
ことを祈ります。



米沢こころの病院
院長 長谷川 朝穂

皆様に新年のご挨拶を申し上げ
ます。

昨今はコロナ禍のみならず、世
界中が様々な災害に見舞われてい
るような感があります。中には地
球温暖化に関連した豪雨や早魃な
どもあるようです。二酸化炭素濃
度上昇に伴う温暖化に関しては、
ノーベル賞を受賞した真鍋さんら
の研究を踏まえ、1988年頃か
ら警鐘を鳴らされていたものの、
ごく最近まで私たちは他人事のよ
うに感じていたように思います。
無意識のうちに自分にとって不都
合なことから眼を背けていたのか
もしれません。

このような情勢を踏まえて、今
後社会や生活様式はさらに変わっ
ていくかもしれません、医療の
必要性がなくなることはありません
。私たちは現実をしつかりと見
つめ、地域の皆様によりよい医療
を提供できるよう努めていく所存
です。人類同士が争うのではなく
叡智を持ち寄り、手を携えてよき
未来を拓いていけるようになるこ
とを祈念して、ご挨拶とさせてい
ただきます。

年男・年女

佐藤病院第6病棟師長

色摩 聡

入職してからあつという間に年
数が経ってしまいました。患者さ
ま、ご家族さまへの関わりを通し、
精神科の奥深さも知る事ができま
した。まだまだ知らない事もたく
さんありますが、より精神科の知
識を蓄え、職員が同じレベルでの
看護対応が行える様に、師長とし
て看護師の育成に尽力してまいり
ます。病棟としても、患者さまが
笑顔で退院を迎えられるようにス
タッフ一丸となり本年も務めてま
いります。

ドミール南陽
畑中 伶菜

入職して4年目を迎え、入職当
初は不安なことばかりでしたが、
職員の方や利用者様に支えられな
がら日々送ることができています。
まだまだ未熟な部分はありますが、
常に原点に立ち返りながら誠実な
姿勢で仕事に取り組み、充実した
一年となるよう今年も気を引き締
めて頑張りたいと思います。

令和3年度表彰

第59回 山形県精神保健福祉大会 厚生労働大臣表彰

10月12日(水)、山形市の山形国際交流プラザで開催された山形県精神保健大会の席上において、佐藤病院沼田由紀夫院長が山形県精神保健福祉事業功労者知事表彰を受賞しました。

沼田院長は、置賜保健所・小規模作業所・養護老人ホームの嘱託医として患者及び家族の相談指導にあたり、適切な医療へ繋げる等、地域の精神保健福祉活動へ大きく貢献した。また、米沢アルコール問題研究会を発足し、アルコール依存者の理解促進や予防活動にも寄与し、置賜地区を始め広範囲に渡り活躍している。精神科医として、長年にわたり精神医療活動に従事し、精神障がい者の社会復帰の促進、地域移行への取り組みに大いに尽力し、精神科医療の発展に多大な貢献をしているという

ことで表彰されました。



第28回 日本精神科救急学会 奨励賞受賞

第28回日本精神科救急学会において、佐藤病院非常勤医師の文鐘玉先生が「精神科救急病棟入院患者の自覚的睡眠、他覚的睡眠（看護師による観察）と客観的睡眠（簡易脳波計の記録）の比較」の研究で、学会奨励賞を受賞されました。

この研究は文先生が令和2年3月まで常勤で佐藤病院の副院長として勤務されていた頃より取り組んでいたもので、「佐藤理事長をはじめとした医師、夜勤の忙しい時に脳波計装置をしてくれた看護師、そして被験者になつていただいた患者様に心より御礼を申し上げます。」と本人よりコメントがありました。



介護老人保健施設事業者 厚生労働大臣表彰

ドミール南陽の阿部施設長が、この度介護老人保健施設事業者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

これは長年にわたり、介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績があった方々に対し、厚生労働大臣がその功績をたたえ、その功績に報いるとともに、老人保健福祉行政の推進に寄与することを目的に与えられる表彰です。

阿部施設長が、長年ドミール南陽で携わってきた介護老人保健業務が認められたもので、大変栄誉あること喜んでおります。

今回の受賞を機に、さらにドミール南陽のサービス向上を図り、地域の皆様の期待に応えてまいります。



漢方と精神科

陰陽論と心の平穏

若宮病院 医師 永田 真一



漢方の基本に陰陽論というものがあります。一言で言えば「事象の全ては陰と陽の二つから成る」というもので、「明、上、男、夏、火、動物」などが陽、「暗、下、女、冬、水、植物」などが陰でそれぞれ相対しています。

この概念の重要なところは、善悪二元論や二極思想とは全く異なり「善悪」や「絶対的評価」でないという点、そして「二つ相対しているが、分かれていく訳ではない」ということです。

陰と陽は「お互いなくしては存在しない」ものであり、「必ず二つ揃っている」上に、互いにバランスをとる様に動いたり、補い合う様に動いたり、またお互いを端的に表現したのが、ここに示す「太極図」です。



これだけ見ると、「古臭い」「非科学的」「怪しい占い？」という様なものですが、この図が表すのは「世の中全て『白だけ』『黒だけ』ではあり得ず、その白と黒の評価すら状況によって変わる」ということ。「両面内包」「非二極相対」「柔軟性／変動性」などの文言で置き換えることも出来ませんが、実は古今東西、心の平穏や生活の安定に関わる全ての基本概念はここに基づいていると言えます。

「薬も過ぎれば毒」「嘘も方便」などの日本のことわざや、「中道」など仏教の教えを始め各国のことわざや教えにも同様のものがあり、「ポジティブシンキング」「あなたを幸せにする100の言葉」など一時期話題になっていた現代の書籍も、方法論が違っただけで、こう言った認知を身に付けさせようとするものです。

何故なら、人間は「心が苦しいと思ったことが苦しい」からであり、また「認知が二極化してしまうと

苦しみを感じやすい」からです。そんな時、この太極図の様な認知で「黒があることも理解した上で、自分が白と思うものを積極的に見ていく」ことが出来れば、「心は苦しみを感じにくい」ので、心が平穏になるという仕組みです。

この仕組みは「認知療法」の一部として精神科でも用いられており、つまり陰陽論は「古臭い、非科学的な、何か宗教じみた様な曖昧な教え」などではなく、歴とした「技術論」であると同時に、精神科に関わる私たちに馴染み深い概念なのです。

漢方の治療を一言で表せば、「バランスを整える」こと。精神科の治療も、「心のバランスを整える」ことが大事です。さらにお互い「検査では見えにくい」同士。精神科と漢方は、とても親和性が高いのです。



佐藤病院 作業療法室

01 作業療法 (Occupational therapy) など



作業療法は、リハビリテーションの一つです。主治医より作業療法の指示が出ますと、ご本人の同意を得て開始することになります。各病棟には担当の作業療法士がおりますので、患者様とお話をさせて頂き、現在の体調や生活上の不安、ご希望などお話を聞きながら、どのように作業療法を進めていくか検討していきます。そして、作業療法を通して、心身の安定を図り、意欲や自信などを取り戻していきます。また、退院に向けて体力の回復や生活上の不安軽減、生活スキルなどを身につけていきます。

02 活動紹介

「作業」とは、生活に関わる活動の全てを指し、利用される方一人一人に適切な作業活動を提供できるように努めています。

作業療法室は体育館内にあり、様々な活動を行っております。実際にやっている活動を一部紹介します。

運動

自宅での生活から離れ、療養している期間が一定期間ありますと、体の調子も今までと異なる感じがすることがあります。また、体力が低下しますので、軽いウォーキングから始めたり、ストレッチに取り組んだりします。少しずつ負荷を増やし、ウォーキングの量を増やしたり、ダンベルを使用した体操を行います。また、バドミントンや野球などのスポーツも行っており、発散や交流の場にもなります。



手芸や創作、音楽など



編み物や刺し子、パズルや折り紙など、自分の出来そうな作業から始め、少しずつ気分が安定したり、意欲を取り戻したりし、安定した生活につながります。

これらの作業は、個人で行ったり、集団で行ったり。作業を通して、人との交流も自然に生まれます。話し相手ができることもいいですね。

退院に向けて



退院後の生活に必要な調理活動や人付き合いの実践的なトレーニング、生活のしづらさを改善するための認知機能トレーニングなど、生活上の困りごとや不安軽減のために個別と集団を使い分け取り組むこともあります。

03 その他の活動

作業療法室以外でも病棟に出向い

での活動や高齢の方だけを対象とした活動なども毎日行なっています。

また、高齢の方を中心に退院に向けて歩行能力などの改善のために身体的なりハビリテーションも行っています。



04 私達のモットー

作業療法室では、作業を通して心身の回復のお手伝いをしております。私達は、患者様に寄り添う気持ち大切に、共に楽しみ、目標を共有しながら、日々患者様と向き合っております。また、病棟や他職種と連携しながら、患者様は退院後どのような生活を送られるのかを把握し、不安や生きづらさを軽減して、自分らしい生活が送れるようサポートしております。患者様が笑顔で退院を迎えられる姿を見ると私達も嬉しいです。職員一同、これからも安心して作業療法室を利用していただけるよう日々邁進します！

※外来作業療法も行っておりますので、外来通院をされている方の利用も可能です。ご利用やお問い合わせは、外来診療の際職員にお尋ねください。

やる気スイッチを押す方法



あけましておめでとうございます。皆さまはもう新年の抱負を立てましたでしょうか。気持ちを新たに頑張れていますか。目標に向かってスタートしたものの数か月（数日？）たつと何だかやる気がでない：という経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。そんなとき私たちのやる気スイッチはどこにあると思いますか。脳でしょうか？それとも体でしょうか。

答えを出す前に脳科学の研究を一つ紹介します。ペンを噛んだ状態で漫画を読んでもらうという実験です。くわえ方が2種類あって、ストローを使うときのようにペンを縦に口に入れるのですが、一方の被験者は歯をむき出すようにしてペンを噛み、もう一方の被験者は唇だけでくわえ、この状態で同じ漫画を読んでもらいます。すると、歯で「イー」と噛んだまま読んだ方が面白い漫画だと感じる被験者が多かったのです。

なぜでしょうか。「イー」と噛んでいるときの表情筋の使い方笑顔に似ているからです。笑顔を作る筋肉が動く、私たちの脳は「今楽しんでいるんだな」と判断するのです。体の反応をヒントに脳は状況を判断するということです。話



は戻って、私たちがやる気になっているとき、脳の淡蒼球（たんそうきゅう）という部分が活動しているのですが、ここを活動させるのも体です。体を動かす筋肉が動くとその刺激が淡蒼球を活性化するので。

つまり私たちのやる気スイッチは体にあり、体を動かすことで脳が「今活動するときなんだな、よし！」と脳が意欲的な状態になるのです。このように体を活性化させることで心を活発にする方法をアクティベーションと呼びます。アクティベーションは心を静めるリラクセーションとは対照的なものです。実は両者ともストレス軽減に役立つことが分かっています。

アクティベーションの具体的な

若宮病院認知症デイケア科
公認心理師 板垣花絵

方法としては軽い体操や体を軽く叩く、早く呼吸をして心拍数を上げる、声を出す、おしゃべりするなどの例が挙げられます。スポーツなどの本番前にやる気を出すときも声を出したり体を軽く動かしたりする方もいるのではないのでしょうか。私が働いているはつらつデイケアでも、お昼寝から目覚めて午後の活動を始める前に、「赤いリンゴに唇寄せて♪」のりんごの歌に合わせて手をグーチョキパーなどする自作のりんごの歌体操を行っています。

皆さまもぜひ体を動かすことでストレス解消とやる気スイッチを押す方法を取り入れてみてください。どうか皆さまが新年の抱負を叶えられますように…！



公徳会佐藤病院野球部活動報告



今シーズンの公徳会佐藤病院野球部は、9年連続で各県大会を勝ち上がり、各全国大会の出場権を獲得することができました。一部、感染拡大防止のため中止となった大会はございますが、10月に開催された天皇賜杯、東日本大会へ出場し、全国大会で3年ぶりの勝利をおさめることができました。

令和3年度は、コロナ禍の中ではございましたが、多くの関係者の皆様に支えられ、全日程を終了することができました。対外試合や県外遠征の制限もあり、思うような活動はできませんでしたが、野球ができる環境を与えてくれた地域の皆様、職員の皆様、そして家族に心から感謝申し上げます。

全国大会結果

第76回国民体育大会（三重とこわか国体）
新型コロナウイルス感染拡大のため中止

9月26日～29日
三重県

天皇賜杯第76回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメント
1回戦 対 J A ようてい（北海道南）……………6-2 ○
2回戦 対 日本通運四国（香川県）……………1-10 ●

10月15日～20日
東京都八王子市

水戸市長旗第29回東日本軟式野球選手権大会

1回戦 対 パナソニック横浜（神奈川県）……………8-1 ○
2回戦 対 筑波病院（茨城県）……………3-2 ○
3回戦 対 フタバ産業株式会社（愛知県）……………0-3 ●

10月29日～11月2日
茨城県水戸市



看護学生奨学金制度のご案内

公徳会では、看護学校等において看護師の資格取得を目指す看護学生に対し、修学に必要な資金の一部を奨学金として貸与いたします。

※公徳会就業後、一定の条件を満たすことで奨学金の償還が免除されます。

■募集資格／①看護学校等へ進学予定の方、または看護学校等に在学中の方。

②看護学校等を卒業後、直ちに当法人に就業する意思がある方。

■募集人数／毎年若干名（定員になり次第、募集を締め切らせていただきます）

■募集期間／毎年1年を通じて行っております。

■貸与金額／月額上限70,000円（無利子）とし、毎月貸与いたします。

■貸与期間／正規の修学期間または、奨学金の貸与が決定された日の属する月から卒業する日の属する月までといたします。

■応募方法／電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、成績証明書（看護学校等または最終出身校のもの、発行3ヶ月以内）を郵送ください。

■その他／施設見学も随時受付しておりますので、下記までご連絡ください。

お問い合わせ 経営管理部人事課 ☎0238-40-3170 / 内線 2152



診療情報 令和3年度

【佐藤病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	71.0	72.8	72.8	72.2
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	14	11	5	10
入院者数【総ベッド数151床】	1日平均	135.2	130.4	126.9	130.8
入院件数	月件数	29	29	25	27.7
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	0	0	4	1.3
退院件数	月件数	35	33	30	32.7
平均在院日数		108.0	107.2	106.6	107.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		76.6	77.5	77.7	77.3

【若宮病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	83.0	90.7	87.6	87.1
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	13	11	18	14
入院者数【総ベッド数113床】	1日平均	104.5	109.3	106.5	106.8
入院件数	月件数	32	24	25	27
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	2	2	1	1.7
退院件数	月件数	18	29	31	26
平均在院日数		144.2	129.2	123.5	132.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		80.5	72.9	69.5	74.3

【米沢こころの病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	75.5	81.4	74.1	76.9
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	6	9	8	7.7
入院者数【総ベッド数120床】	1日平均	114.6	106.5	105.2	108.8
入院件数	月件数	23	26	36	28.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	0	1	1	0.7
退院件数	月件数	22	32	30	28
平均在院日数		103	98	94.9	98.6
（うち、救急病棟平均在院日数）		71.5	68.6	66.4	68.8

表紙写真「落霜紅（ウメモドキ）」

モチノキ科モチノキ属の落葉低木。和名の由来は、葉の形がウメの葉に似ていることからこの名がある。山形県では絶滅寸前としてレッドリストに挙げられている。

撮影／渡部俊一氏



【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	佐藤忠宏 沼田由紀夫 直長康子	澤村一司 渡部 亮	武吉健児 直長康子	沼田由紀夫 文 鍾玉	澤村一司 渡部 亮		
午後1:30~4:30	武吉健児	岩本康夫	薛 陸景	岩本康夫	薛 陸景		
専門外来制	午前8:30~11:30 午後2:00~4:00	沼田由紀夫(アルコール) 澤村一司 (もの忘れ)			澤村一司 (ストレス) 渡部 亮 (発達障害)		
		武吉健児 (ひきこもり)		岩本康夫 (依存症)	齋藤卓弥(隔週) (児童思春期) 須山 聡(隔週) (児童思春期) 薛 陸景(食べ過ぎ・肥満)		

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	阿部詔子	阿部 淳	日向正光 石田留生	田中 武 石井玄樹	日向正光 奥山有里子	田中 武 森口 (第1週) 当番医 (第2・4週)	
午後1:30~4:30	石井玄樹	永田真一 阿部 淳 (第1・3・5週) 阿部文恵	阿部詔子		奥山有里子		
専門外来制	午前8:30~11:30 午後1:30~4:30	永田真一 (児童思春期)	田中 武 (依存症)	成重竜一郎 (児童思春期)	成重竜一郎 (児童思春期)		
		日向正光 (うつ) 成重竜一郎 (児童思春期)	成重竜一郎 (児童思春期)	石井玄樹(児童思春期) 石田留生(児童思春期)	阿部詔子 (もの忘れ) 永田真一 (児童思春期)		

【米沢こころの病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	竹内幸宏 遠藤雅俊 垂水良介 (隔週)	長谷川朝穂 中尾友宣 遠藤雅俊	長谷川朝穂 御供正明	富田 裕 遠藤雅俊 御供正明	竹内幸宏 御供正明 荒井亜佐美		
午後1:30~4:30	長谷川朝穂 富田 裕 垂水良介 (隔週)	竹内幸宏 富田 裕	中尾友宣	御供正明 荒井亜佐美	中尾友宣		
専門外来制	午前8:30~11:30 午後1:30~4:30	遠藤雅俊 (不安症・パニック障害)	長谷川朝穂 (アルコール) 中尾友宣 (もの忘れ)		御供正明 (ストレス)		
		富田 裕 (うつ)	竹内幸宏 (ストレス)	成重竜一郎(児童思春期)	相良雄一郎 (睡眠) 月1回		

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	薛 陸景	直長康子	中尾友宣 渡部 亮	武吉健児	沼田由紀夫	長谷川朝穂 御供正明(第1・3週) 当番医 (第2・4週)	
午後1:30~4:30	岩本康夫	澤村一司	岩本康夫		富田 裕		
専門外来 予約制	午前9:00~11:30					須山 聡 (隔週) (児童思春期)	

【トータルヘルスクリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	川合厚子 (内科)	川合厚子 (専門外来)	川合厚子 (内科)		川合厚子 (内科)		
内科 予約制	午後2:30~4:00	川合厚子 (専門外来)					

※各施設担当医師については変更になる場合もありますのでご確認ください。

※診療及び、各種お手続き等に関するご相談・お問い合わせは以下の各病院、医療福祉相談室で受け付けいたします。

佐藤病院

☎0238-40-3170(代)

若宮病院

☎023-643-8222(代)

米沢こころの病院

☎0238-27-0506(代)

理念

- ・愛のある医療
- ・良識に基づいた医療
- ・公正、公平な医療

基本方針

- ・良質な医療の提供につとめます
- ・患者さま、利用者さま中心の医療を行います
- ・地域に立脚した医療を行います
- ・安全で安心と満足の得られる医療を提供します
- ・保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます

